

展示会出展を起点とした日本市場への技術力訴求とビジネス機会の拡大

会社概要



会社名

タンカースジャパン合同会社

親会社

TÜNKERS Maschinenbau GmbH (ドイツ)

進出時期・地域

2016年 福岡県福岡市
2018年 愛知県名古屋市へ移転
2024年 愛知県半田市へ移転

進出形態

製造・販売拠点

他の国内拠点

なし

主な事業内容 自社の強み

自動車等製造現場で使われるクランプ（締め具）、コンベア、溶接機等の製造・販売。
クランプは欧米を中心に幅広く利用されている。コンベアは安全性に優れ、現場に合わせたラインが提供できること、また、溶接機は一般的な製品と比べて小型なところが強み。



進出の背景・目的

- 日本は自動車メーカーが集積しており、同社製品のニーズ、シェア拡大が見込めると考え、進出を検討。
- 当初は福岡県を販売拠点としていたが、日本国内でも特に自動車産業が集積するグレーター・ナゴヤ地域に魅力を感じ、名古屋市へ移転。
- その後、日本での主力製品である部品搬送コンベアについて、日本国内での組み立てへ方針転換し、組み立てスペースを確保できる環境が整った愛知県半田市へ2024年に移転。

2016

2018

進出後の成果

- 日本ではコンベアの販売比率が高く、主力製品となっている。
- 2025年10月に名古屋市内の展示会に出展したところ、非常に大きな反響があり、グレーター・ナゴヤ地域の企業を中心に300以上の参加者と接点を持つことができた。
- 展示会で出会った企業への訪問活動は、出展から2ヶ月以上経過した現在も継続しており、想定以上の成果を得ている。

2024

地域への貢献

- 展示会への出展を通じて同社および同社製品の知名度が向上し、グレーター・ナゴヤ地域企業との交流が強化されている。
- 同社製品は欧米の自動車産業で多くの導入実績を有しており、日本国内での認知度を高め、導入拡大を通じて日本企業の生産性向上に貢献している。

2025

今後の展望

- 本社および組み立ての拠点はグレーター・ナゴヤ地域に維持しつつ、将来的には関東地域に営業拠点を開設し、営業力、サービスの拡大を図る。
- 標準サイズを超えるコンベアの受注が始まっており、現在の工場スペースでは対応が難しくなる可能性があるため、グレーター・ナゴヤ地域内でより広い工場物件や用地があれば、さらなる移転・規模拡大を目指していく。

将来